



# 梅島小だより

## 伝統文化を体験するということ

校長 江原 敦史

本校は今年度、東京都教育委員会の「日本の伝統・文化教育推進校」の指定を受けました。これは、本校がこれまで、伝統文化体験学習を特色ある教育活動の一つとして取り組んできたことによるもので、これはひとえに、子どもたちのために、すばらしい体験学習の機会をつくってくださった講師の先生方のおかげです。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。



今年度本校は、「日本の伝統・文化教育推進校」の取り組みの一つとして、都立足立高校で英語を教えているアメリカ人のジェシー先生と交流を図っています。

4年生のみなさんが体験した「生け花」の学習にジェシー先生をお招きしたときに、ジェシー先生がこうおっしゃっていました。

「私は、アメリカでも日本の生け花を少しだけ体験したことがありますが、今日、日本の学校で日本の子どもたちと体験した生け花は、今までのどの体験よりもすばらしいものでした。日本の子どもたちと生け花を学ぶことができ、ほんとうにうれしいです！」

日本を訪れる海外の旅行者は、今年すでに2000万人の大台を突破したそうです。その中には、日本の伝統文化に高い関心を持ち、それを体験する目的で来日した人も少なくないと聞きます。

そのような人々は、「日本人は、自国の伝統文化に誇りを持ち、それをよく知っている」と期待しながら来日しているかもしれません。

先のジェシー先生の言葉は、単に日本で生け花を体験できただけでなく、自国の伝統文化を学んでいる日本の子どもたちの姿に接し、貴重な体験を日本の子どもたちと共有できたことのうれしさだったのではないかと私は感じました。

これからの時代を生きる子どもたちの活躍の舞台は、ますますグローバル化し、海外の人と仕事を共にすることも増えることでしょう。そのときに、私たち日本人に求められるのは、日本の伝統文化に誇りを持ち、そのよさを世界の人々に伝えていくことだと考えます。

今後も、講師の皆様のご協力のもと、日本の伝統文化のすばらしさを自身で体験して感じ、それを世界の人々に伝えることのできる子どもたちを育てていきたいと思えます。